

## 市政懇談会 記録 3

### 本中山地区市政懇談会記録

#### 開催日時

平成14年4月20日（土曜日）

#### 開催場所

小栗原小学校 体育館

#### 質問事項

- [・市境の雨水・駐輪等の問題について](#)
- [・西部公民館の建て替えについて](#)
- [・コミュニティセンターの建設について](#)
- [・国有地の公園利用について](#)
- [・真間川緑化整備に伴う一方通行の問題について](#)
- [・小栗原橋の歩道設置について](#)
- [・交番の設置について](#)
- [・駐輪問題及び駐輪場の設置について](#)
- [・駐輪問題に対する警備員の派遣について](#)
- [・「完全週休二日制」に伴う教育問題について](#)
- [・「私立」、「公立」の学習時間の違い及び子供たちの遊び場について](#)
- [・霊園の名称について](#)
- [・原木中山駅のロータリー広場について](#)
- [・下総中山駅南側の整備について](#)
- [・本中山地区、在宅福祉の計画について](#)
- [・「公園造り」について](#)
- [・道路問題及び財源問題について](#)

#### 市境の雨水・駐輪等の問題について

##### 質問

中山地区の色々な問題のなかに、市境に関することがございます。色々な意味で市川市との境であるということ。下水道や突然の雨で大変多くの水が出てしまう。市川市に降った雨も船橋市に流れてくる。そこに大変な問題が出てくる。駅が船橋市にあるのですが、利用者の7割が市川市の人達であります。そこに駐輪問題も発生してまいります。それを抱える住民の皆さんは大変迷惑することになり、市川市にお願いしても自治体が違いますので「そのうちに」という話しになってくる訳であります。

船橋市は、わりあいきちんとしているのですが、実際に係わる住民のほとん

どが市川市であるということになりますと、上手くいかないのが現実であり  
ます。

船橋市と市川市の市境にある中山の町は、非常に混乱しているところがある  
ということをおしあげておきたいと思っております。

## 回答

質問者からいわれましたように、確かに市川市との行政境でありますから、  
下総中山駅のエレベーターの件一つとりましても、私どもも、市川市に予算を  
要望しなかった点については、担当に『なぜ市川市に言わなかったのか』と話  
しをしましたが、このたびの東西線原木中山駅につきましては、市川市にもお  
願ひしていることから「お互い利用出来るところは、お互いで考えようではな  
いか」という事でもあります。

駐輪場につきましては、下総中山駅と原木中山駅があり、原木中山駅には若  
干の余裕があります。船橋も市川もそうですが自転車問題については、マナー  
に関する事が大部分であります。「マナーをきちんと守っていただきたい」とい  
うのが、私どもの本当の気持ちであり、そういった意味で街頭指導員を採用し、  
啓発を行っております。

しかし、下総中山駅に関しては、駐輪場が大変不足しているのも事実であり、  
14 年度に駐輪場の増設を予定しておりますが、全体的に不足しているのは、皆  
さん方がよくご存じかと思えます。

私どもは、適地があれば増設に努めておりますが、自転車の利用者の方は自  
宅から駅迄行く途中に駐輪場が無いと利用していただけない。駅を越えて戻る、  
ほんのわずかな所でも戻る所は利用されない。折角造ったのにもかかわらず、  
わずかな動線の違いで使っていただけない。

これにつきましては、私どもも大変残念に思っております。 そのような色々  
悩みはありますが、絶対に不足しているのも事実であり、少しでも皆様に利用  
されやすい場所で、適当な所があれば、増設に努めてまいりたいと思ってお  
ります。

料金の問題につきましては、市川市の方も利用されているのは、ご存じのと  
おりであります。料金については格差をつけております。

駐輪場の整備につきましても、市川市とお話しをしており、具体的な割合は  
決まっておりますが、市川市にも負担していただくという方向で話し合いを  
進めておりますので、市が 100 パーセント負担してでも造るという意味ではあ  
りません。市川市にも相応の負担をしていただくということで前向きに進めて  
おりますので、ご理解をいただきたいと思えます。

市川市からの水が大変多いということは事実であり、ご案内と思えますが、  
旧中山都市下水路というのが過去に整備をされており、皆様方の町内にその幹

線が通っていたということでもあります。各流域の中での市街化により、雨水の流出の増大ということから、皆様方には浸水被害が発生し、大変残念な状況があった訳であります。

今、本中山地区におきまして、下水道の整備をさせていただいておりますが、そのなかに中山都市下水路が変わって、市川地区の排水も上流で出来るだけカットしようという構想をたてました中で、放流幹線やその他流域の幹線整備を既に着手、または、一部においては完成しております。これが完成したあかつきには、当然両市内の下水道整備もやっておかなければならないという前提があり、当然市川市と協議をしながら、お互い協調して行っている中で、概ね 40 パーセント以上の水が将来的にはカットされていくというようなことの中で、解消を図っていこうということでもあります。

現在、本中山地区につきましては、皆様方の排水も取るべく町内の下水道整備をさせていただいておりますが、それらと併せて幹線整備をしておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

また、詳細等が必要であれば、改めてご説明させていただきます。

## 西部公民館の建て替えについて

### 質問

西部公民館の建て替えについて、質問させていただきます。

西部公民館は、ご承知のとおり昭和 40 年に建てられたということで、既に 36 年から 37 年程経過している訳ですが、この問題については前回、平成 10 年に開催された市政懇談会でも取り上げられているようでして、その後随分と進展しているようであります。進捗状況の報告書を拝見しますと、市の「実施 4 ヶ年計画」があるようなのですが、この「実施 4 ヶ年計画」が、どのような内容なのかを説明していただきたい。

二番目に、具体的な西部公民館の建て替えという問題です。先程、市長から「建て替える」というお話がありましたが、具体的なスケジュールがどうなっているのか。回答書によると、平成 17 年度、つまり、今から 3 年後になりますが、読みようによっては、基本的な設計に、その時点から入るというようなニュアンスになっておりますが、少し時間がかかりすぎるのではないかと思います。もっと早めに建て替えの計画に入れたいのか。もしくは、別の計画があるのかどうか、質問させていただきたいと思っております。

### 回答

確かに西部公民館は昭和 40 年に建設され、非常に古くなり、使い勝手も悪くなっておりますことは、充分承知しております。

公民館は、海神公民館の完成をもちまして、「23 コミュニティの 25 館構想」

が終了しております。そのなかで、今後は古くなった順から建て替えるという計画をもっております。

それにつきましては、西部公民館が一番古い訳で、先ず西部公民館からという考えをもっております。

具体的なスケジュールにつきましては、財政状況も鑑みなければなりません。実施4ヵ年計画の中で、平成17年度に「基本設計」を行うことが載っており、住民の皆様の要望で、「早く」と、いつもいわれている訳ですが、やはり財政状況等もあり、早くしたいのですが、17年度から基本設計に入りたいと考えております。ご理解をお願いしたい。

#### 質問

この3年間は現状のままかどうか。

#### 回答

現状のままをお願いしたい。

#### 質問

基本設計から建物が完成するまで、大体どれくらいかかると考えたらよろしいでしょうか。

#### 回答

約1年位みていただきたい。

#### 質問

そういったしますと、実用化までには後4年位かかるという認識でよろしい訳ですね。

#### 回答

その時の財政状況によりますが、そのようにみていただければありがたい。

西部公民館は、確かにいわれておりますように、老朽化していることは、重々承知しております。

また、階段で2階、3階へ上がっていく。非常にバリアフリー時代からすれば、これは直さなければならないと思っております。

しかしながら、あそこには、先程お話ししましたように、消防の本中山出張所が入っており、建て直して新たにするには、消防が出て、広く利用することになれば、別の形のものできるであろうという考えであり、消防が出るのが先だということでありましたので、それだけ時間がかかっているということですから、ご理解下さい。

### コミュニティセンターの建設について

#### 質問

コミュニティセンターの建設について質問させていただきます。

先般、「船橋市民便利帳」というものを入手しまして、船橋市内の色々な設備関係、施設関係を勉強させていただいた訳ですが、この中に公民館とコミュニティ施設というのが載っている訳です。実はこの書籍を見まして、ガッカリしたことがあります。それは、コミュニティ施設というものが、この船橋市内に一ヶ所しかないのです。

ただ、ガッカリしただけではなくて、実は勇気づけられたこともあります。それは、先程来市長が触れられている市境の問題なのです。

ある所はどこかといいますと、「三山」という所なのです。この三山というのは、習志野市に隣接している場所で、船橋市の東の端が、この三山という所なのです。

逆にいうのならば、本中山というのは西の端であり、そのような意味で三山という所は、習志野市に隣接しているにもかかわらず、コミュニティセンターがある。ならば、今度、2番目に建てるときには、是非、二子・本中山地区に設けていただきたいというのが、私の希望なのです。

入口で資料を配りました。これを見ていただきたいのですが、枚数が少なくて皆さんにお配りできなかったのですが、「行政・地区コミュニティ圏域等一覧」というのがあります。これを見ていただきますと、東部地区というのがありまして、17番目に三山・田喜野井地区というのがある訳です。東部地区の世帯数と人口、この辺から解析いたしますと、世帯数におきまして船橋市内の28.4パーセントを占めている。人口においては28.5パーセント占めている訳です。我々が住んでいる所の西部地域がどの程度占めているかといいますと、世帯数で22.2パーセント、人口で21.6パーセント占めている。船橋市内の「地域」といいますか、「ブロック」といいますか、そのようななかでの第2番目の地位を占めている訳です。他に南部地域、中部地域、北部地域とかありますが、少なくとも西部地域は三山がある東部地域に比べて、第2番目に位置していることでありまして、是非、次回、2つ目のコミュニティセンターを造る場合には、西部地域へ建設していただきたいと思う訳であります。

端に「人口密度」という欄を、私が手書きで掲載しましたが、三山は人口密度でいいますと、1ヘクタールあたり76人しか住んでおりません。西部地域はどうかといいますと、二子町と本中山1丁目から7丁目ダントツで172人住んでおります。これは船橋市内で1番です。100人を超えている所というのはわずかなのです。そのなかで三山の約3倍位の人口密度があるという特異性がある訳です。そういう意味に置かしても、是非、お願いしたいというのが、当地域の人達のお願いなのであります。

人口密度が高いですから、空間地域は当然少ない。ならばどうするかという問題がある訳ですが、是非、公共施設、そういったものを建て替えるときに併

せてお願いしたい。

先程の話しにでましたが、西部公民館が北側にありますから、造る場合には是非、南側にお願いしたい。

本中山 5 丁目に保育園もありまして、そういった保育園とコミュニティセンターというものを、併設するような形で造っていただければ、非常にいいのではないかと、公共施設の高度利用化を図るという観点から、是非、よろしく願いしたいと思います。

質問ですが、コミュニティセンターの 2 つ目を造る計画があるのか。無いのか。その辺をお聞きしたいと思っております。

#### 回答

確かに人口動態等でいわれますと、そのとおりであります。コミュニティセンターの場合、議会で採択されている件が一つあります。それは、高根・金杉で採択されております。

公民館の利用は、年間で 170 万から 180 万人が利用しており、利用頻度が高い。三山のコミュニティセンターは、非常に低いということもあります。また、議会で採択されていることもありまして、そちらを抜いて、こちらをというようなことも、なかなかいかないものであります。

今の段階ではコミュニティセンターを新たに造るということではなく、先程おっしゃいましたように、複合的なもので、ということは考える面があるかも知れませんが、今の段階で新たなところに展開していくことはチョット考えておりませんので、ご理解下さい。

### 国有地の公園利用について

#### 質問

二子町の国有地に公園を造ってもらいたいというお願いを 4、5 年前にしたのでありますが、「大丈夫だ」というお話しがあるのでありますが、現在どうなっているのだろうと思って大蔵省の財務局に聞いてみたところ、「まだ、金は貰ってないけれども、時々借りにくる」というような話しをしておりましたので、どうなっているのか実際のところお聞き願いたいと思っております。

#### 回答

この国有地につきましては、私どもの方で、財務省の千葉財務事務所へ公園として利用希望を出してあります。

ここ数年の間は下水道工事の資材置場等で、一時的に使用してきたところですが、取得予算、この土地を買うという予算の計上を見送ってきたことも事実であります。

この下水道工事の一時使用が終わる見通しでありましたことから、平成 14 年

度予算でと考えたところではありますが、全体の予算がかなり財政が厳しくなっていることから、予算化ができなかったところを、ご理解願えればと思うところでもあります。

引き続きまして今後、この取得につきましては努力してまいりたいと考えておりますので、ご理解下さい。

#### 質問

二子町は、私が在住したときには「田んぼ」が多かったのですが、現在はマンションが多い訳です。殆どがマンションに変わって行くとしたすと、公の土地が殆どございませんで、公のものが無い地域が出来てしまう。これでは異常であると思っております。従いまして、この二子町の公園につきましては、何をおいても造っていただきたいと思ひます。

#### 回答

今後、最大の努力をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

### 真間川緑化整備に伴う一方通行の問題について

#### 質問

要望事項としまして、私どもの地区では、「真間川緑化整備に伴う一方通行の問題について」ということになっておりますが、その前に、私どもはこの懇談会を行うにあたりまして、10年3月28日に前回は行っており、4年ぶりでありまして、その間に私どもは市長に対する「親しみ」と申しますか、「スキンシップ」と申しますか、なにか市民として大事なものを感じて来ております。ですから、「厳しい」というお話しは、よく分かるのですが、お願いしておきます。前向きで私どもも取り組んでおりますので、お願いいたします。

私どもは純粋に市民税を収めている一市民でありますので、決して市政のオンブズマンとかではありません。ですから、身構えてお答えをちょうだいしようとは思っておりません。やはり、スキンシップの位置でお話しをしたいと思っております。

私どもも、言いつばなしの聞きつばなしの個人プレーのためにはしたくないと思っております。それで、先ず、私どもの町会が希望しております真間川沿いの緑化事業に伴う一方通行の道路事情の問題ではありますが、ご承知のとおり、各地方都市の道路事情の悪さというものは確かにある訳です。これは、交通量がイコールしているのではないかと思うのですが、交通量の制限という点から一方通行はやむを得ないと思うのですが、その地域に住んでいる、実際に、自宅の前の道路を直される当事者達の日常の、その工事をしている間の、苦悩というものが確かにあります。それぞれの家が道路に面している部分

に駐車場をもっている方、多々ありますので、その道路を使わなければ出られないということもあります。色々、工事中のことについては、充分配慮してもらいたいのですが、そうしませんと、私どもといたしましては、良いお話してありますので、出来るだけ協力して行きたいと思っても、個々にクレームをつけられていくと、まとめることが苦しくなるのであります。ですから、工事については細心の注意をはらっていただきたいということでもあります。

それから、私の手元に書いてあるのは、道路の現況としては、右岸下流約 200 メートルと左岸上流 120 メートルを除いて、車両交互通行が可能となっておりますが、道路幅は狭い所で 4.65、幅のあるところは 9 メートルというようなことになっているのであります。一方通行にするのに、支障はないのかという懸念が無い訳ではありません。

工事につきましても、いつ行かうかハッキリとは聞いていないのです。即やるならばやるなりの私達にも構えや準備があるのであります。何分にもいつやるかハッキリとは聞いていないのです。そのところをハッキリいついていただきたいということと、なお一層の考慮をお願いしたい。

いつやるのか、それから、波形のウェーブというのですか、道路にして、川の淵の道路ですから、遊歩道も兼ねておりますので、出来るだけ自動車がスピードを出さないようにするような工夫をしてくれることになっておりますが、それに伴って只今現在、どちらかという船橋はバリアフリーというのでしょうか、平らな面を造って、お年寄りの配慮をするということもありますので、十分に歩道を造っていただきたいということもあります。

## 回答

真間川の改修計画についてお答えします。

最初にお話しのありました工事中の諸問題につきましては、昔と違いまして工事を始めるときには、充分地元で説明会をいたしておりますし、個々の事情が色々ありますので、それぞれ聞きながら、不便をおかけいたしますが、最小限のご不便で済むように努力していきたく思っております。いずれにいたしましても、工事中は、それなりの工事になりますので、なにぶんにもご協力を是非お願いしたいと思っております。

真間川の河川敷というよりも堤体敷（堤防部）ですが、それと一部道路敷がありまして、それを一緒にしまして相互通行になっているのですが、先程お話しがありました、1 区間を除きまして 650 メートル区間、これを一方通行にしたい。皆さんも既にご存じかと思えます。以前から地元の皆様と詰めて来ております。そのようななかで、基本的には車道の幅員を 3.5 メートル、歩道を 2 メートルにしたい。余剰地が若干あるところは植栽をして綺麗にして、コミュニティ道路化して行きたいということでもあります。



これは船橋にとりましては、特に中山地区でもそうですが、船橋全体にとって極めて重要な意味合いの持つ事由であろうと、考えております。といいますのは、船橋は大変どこも道路が狭いのです。車も通したい。歩行者も安全に歩きたい。しかし、物理的に幅員がない。そのようなところをどうしたらよいかということを基本的に考えますと、一方通行にして、歩行者の余裕帯を造って、コミュニティ道路と申しますか、歩車道、共存する道路と申しますか、そのような道路を目指していることが、一番早く効果を発揮できる方策であろうと、民地を拡幅して行うというのは、財政だけではなく、大変な事です。人様の財産を取得していく、長い路線を取得する訳ですから、永遠の課題といってもいい位でありますから、効果を早く発揮させるためには、一方通行にして歩行者空間を造って安全性を高めて行く、これが一番の早道であろうと、そのような意味におきましては、この真間川の所はモデルになるのではないかと考えております。そういう意味で期待をいたしております。

たまたま、この場所は船橋市だけではありませんので、千葉県の実間川改修事務所が事業主体になりまして整備する訳であります。先程、スピードをセーブする工法としてウェーブ工法のお話がありましたが、これは歩道がありませんと出来ないところであります。車のスピードをおとすためにウェーブを付ける訳です。必然的にスピードは出せなくなるという物理的な構造であります。こういったものを取り入れることができますし、歩行者が安全に通れるということが最大のメリットであります。

実施時期であります。現在、警察と交通規制について協議をしております。地元の皆さんとは大方決まっておりますので、権限を持っている警察と細部に渡っての協議を行っておりますので、できれば、14年から16年度にかけて整備をして行きたいと考えております。工事中は大変ご不便をおかけすることが多々あるかと思いますが、出来上がった姿は、おそらく船橋でもモデルになるのではないかと考えておりますので、是非、皆様のご協力をお願いしたいと思っております。

## 小栗原橋の歩道設置について

### 質問

小栗原橋に、出来れば歩道を付けてもらいたい。現在、「コルトンプラザ」から来る道と市川から抜ける道と、今出来ている大きなマンション附近で、年中喧嘩をしている状態なのです。

見に来てもらってもいいと思いますが、地元に住んでいる人間というのは、わりと抜け道を知っておりますからいいのですが、他地区から来た人が年中あそこでやっているということがありますので、出来れば子供たちもゆっくり通

れるような、川の端の所、お金が無いところ大変だと思いますが、出来るだけ安くという事ではなく、安全な道を造っていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

#### 回答

お互いに現地を肌で確認して、必要性を共通に持つことが一番大事でありますので、是非、機会をつくって、ご一緒に現地を視察させていただいて、改善できるものは改善して行くという気持ちでおりますので、よろしく願いしたい。

#### 要望

真間川の道路の一方通行問題も、一部地域が一方通行にならないで、小栗原橋が右左折車で非常に混雑している状況もあります。縦の方向も悪くなっています。そのようなところも、引き続き折衝して、反対もあると思いますが、よろしく願いいたします。

#### 交番の設置について

##### 質問

平成10年の開催のときにも、この議案は出ていたと思います。手元にあります市からの10年に開催された懇談会の要望に対しての進捗状況報告書のなかに、平成13年4月24日「再要望済であります。」と書いてあります。

先程、公民館及びコミュニティセンター等の話の中で、本中山の人口密度等がお話しされましたが、私は二子町に住んでおります。目の前が市川東病院です。玄関を出ますと市川市です。本当の端境に住んでおります。まさか、船橋とは思わずに住んで、そこが船橋であったという経緯がありまして、市川に20数年来住んでいて船橋に移って来て、やはりどうしても、市川と市境のことを考えて毎日暮らしている訳であります。

確かに、ここ20年前は「田んぼ」でした。東西線がどこからでも見えておりました。これから先、空き地があれば必ずマンションができる。そこに100所帯、500所帯、いっきに増えていきます。多分、西船、本郷町までの空地も5年の間には、大型のマンションが必ず建つと思います。交番が中山駅、原木駅にはありますが、この中心的なところに交通量の多い京葉道路が通っております。出来ましたら、この空間に交番を設置してもらいたい。それも至急に設置してもらいたい。交番ですと、2坪から3坪あれば充分だと思いますので、大至急交番をお願いしたいと思ひまして、提案させていただきます。

##### 回答

交番設置の問題ですが、確かに人口密度、それから西船橋駅前交番からは離れているということ、これは認識いたしております。

質問者からもお話しがありましたが、10年の3月に市政懇談会を行い、その翌月に、その事情等につきまして、こちらは船橋警察署の所管ですので、そこを通じまして県警本部へ地元の要望を伝えております。

それ以外にも、千葉県警へは、市内で18地区からの交番設置のご要望があります。その中でも確かにこの地域は、西船橋の交番は5人体制の15人ということで、交番のなかでも非常に多い警官を配置している地区であります。「2坪か3坪あればいいので、交番の設置を」と、お話しがありましたが、最近条件が大きくなり、県の設置基準も150平方メートル位必要であるということであり、1ヵ所設置すると、2人勤務の場合は6人体制ということになり、3交代で24時間勤務ということですので、県の方にも再三、機会あるごとに要望いたしておりますが、18ヵ所要望があり、残念ながら船橋市で1ヵ所も要望を入れていただいていないというのが現状であります。

私どもも、状況はよく分かりますので、早速に再度、船橋警察を通じまして、県へ要望してまいりたいと思います。

参考事項であります。千葉県警には昨年375名と、今年290名の定数増が図られております。しかし、2年位現場に配置するにはかかるというような事がありまして、効果が上がっていない。これは参考事項として、情報として、お伝えさせていただきます。

## 駐輪問題及び駐輪場の設置について

### 質問

中山商店会としての要望であります。駅前の広場を造っていただきまして、本当にありがとうございます。

ただ一つ難点が出来ましたのは、交番の前に自転車の駐輪が、物凄く多いということです。黄色い線が引かれている所にも置いてしまう状態なので、出来ればあそこに「生きがい事業団」等の人を、船橋、西船橋でやっているとおりのボックス等を置いて、100円でも50円でも結構ですから取って、そのお金を市で使っていただくようにすれば駅前も広くなりますし、皆さんが安心して歩けると思うのです。

駅前の「マルエツ」、「プラザ」の所も自転車が歩道を完全に使ってしまった状態、朝、市の方が来てやっていると、ほとんど自転車が10時までは無いが、10時過ぎますと一杯になる。お客さんなのですが、その代わりに駅の高架下に「ブンキョウドウ」があるのですが、そこへ150台から200台、逃げ道で入ってしまう訳です。あとは脇道に入ってしまう状態です。

もう一つ、駅前の「マルエツ」の脇にある3メートル50からの「コウカガク株式会社」の道というか、土地があると思いますが、それをなんとか利用して

駐輪場を設置していただきたいと思いますので、できればそのような形で、中山駅を船橋の西口の玄関として、一番大事な市長の顔になると思いますので、そのようにやっていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

## 回答

昨年に駅前広場が完成しましたが、非常に残念に思ったのが、駅前の不法駐輪です。それは、やはり市民の皆様方のモラルですが、何とかしたいとは思いますが。

先程、ご提案がありましたように「いきがい事業団」の皆様が、そこで駐輪を取り締まるということも一考かも知れませんが、そこまで出来るかどうかという事は検討させていただきます。

また、新京成の薬園台駅で都市整備の皆様方が、緑化のモデルとして、「緑のコンクール」があり、ある企業から1,000万円の賞金をいただき、駅前広場を造ったのです。折角出来上がったのに、広場へ皆駐輪するのです。監視がいるときには置かない。ところが、今もおっしゃったように、いなくなると置いていと、その繰り返しでした。

今は大分よくなってきましたが、実際にそこに入れなくする方が良いのかということもあるが、商店街の皆様方は、やはり、お客さんとして来てもらいたいでしょうから、非常に難しい面もありますが、なんとか、いい解決策を見だしたいと思いますので、少し勉強させてください。

折角立派に造った駅前広場が放置自転車に占用される。このような悲しく、残念なことはありません。本当にモラルの欠如というものはこんなものかと、常に寂しさを感じたしだいであります。

従って、下総中山駅も昨年おかげさまで綺麗にさせていただきました。まだ若干あるようですが、おかげさまで、西の玄関に相応しいような佇まいに成りつつありますが、残念なのは、やはり放置自転車です。これを見ますと本当にガッカリしてしまいます。

私どもは何とか、そのようなことがないように駐輪場の増設に向けて努力はしておりますが、昔から栄えている地域、町というのは逆に空間地が少ない。ですから、駐輪場を確保するという事は、非常に至難の技であります。かなりの赤字を覚悟して、尚且つ駐輪場用地が少ない。これが現実の姿であります。

しかも、先程申しあげましたように、折角確保しても動線から外れてしまえば、利用されないという、二重三重の苦しみを私どもは味わっている事も事実であります。

そのような意味で、皆さんに本当にご協力いただきたい訳ですが、14年度に新たに500台程、増設する予定であります。下総中山高架下の帯状の空間を利用しまして、増設させていただいて、何とか駐輪場の増設に向けて努力いたし

ますので、市民の方、市川市民も含みますが、是非、モラルの面でご協力をいただければ、大変有り難いと思います。折角の西の表玄関であります。一番目立つ所でもありますので、是非、ご協力をお願いいたします。

## 駐輪問題に対する警備員の派遣について

### 質問

駐輪場の問題は中山だけではなく、首都圏の凄い問題になっています。船橋の駅前通りは、常設のガードマンがいる。あれは確か、「シルバーセンター」からだと思いますが、私も1、2年前に登録しておりましたら、自転車の管理する人は、希望が多くて「満杯」という状態なのです。いつも船橋の駅通りには、専属の「シルバーセンター」から派遣されていると思います。そのような人達がキチンと行っています。あれを同じ下総中山駅前で作れないのか。私も中山の駅から5分の所に住んでいますから、よく行きます。私も平成元年4月1日から4つ目の会社でガードマンをしていて、この時期は暇なもので休んでおりますが、まだ会社には所属しております。自分もガードマンをしていますから、よく分かるのですが、「シルバーセンター」の人を中山駅へ1名でも2名でも置いていただければ、解決すると思うのです。

いくら駐輪場を造っても、駐輪場まで行く人はなかなかいません。どこでも置ける所があれば、人間ですから、通勤等で時間の無い人だったら尚更、回りをちょっと見て邪魔にならないと思うのは誰でも同じです。少しでもいいところへ置いて、早く用を済ませてということの繰り返しですから、いくら立派な駐輪場を造っても、そこまで行かないひとが多いのです。

駅前広場は立派になりましたが、逆にいい場所も沢山あります。「駐輪禁止」と書いてあっても、その「禁止」と書いてある下に堂々と自転車が置いてあります。たまに、警備員の専門の人が来て、一時は綺麗になりますが、その人達を常時置いていただければ、いいのではないですか。「シルバーセンター」には駐輪場の警備を希望する人がたくさん来ている筈なのですが、それを一つ下総中山駅前でも行っていただきたいと思うのですが、その辺はいかがですか。

### 回答

先程お話ししましたように「いきがい福祉事業団」からの派遣ということは、『検討させてもらいます。』という話しをしましたので、検討させてもらいます。

## 「完全週休二日制」に伴う教育問題について

### 質問

既にご存じのように、今年の4月から「新指導要領」が改定され、行われております。現在、もう始まっております。小・中学校共に子供たちは元気に4

月から登校なさっている訳ですが、私が申しあげたいのは、「指導要領」が改定された現実を見まして、ご存じのとおり、内容が非常に削減されてきたということです。時間数にしては約3分の1が各教科とも減っています。約35時間位ですか。そのなかで、子供たちをどのように、今までのレベルのように育てて行くのかというのが、私が、一番、この教育問題に対しては関心があるところでもあります。

これは私だけではありません。地域の方々、父兄といえますか、保護者の方々には、「どうなるのだろうか」、学校の指導体制は削減されてきている。そういうときにおいて、子供たちはどうすればよいか。ご存じのように週5日制、2日間休みという、土、日休みという現実において、子供たちは、これをどう育てて行けばよいか。ということが非常に関心の的になっている訳であります。その2日間をどう対処していけばよいか。現実の問題として親は非常に悩んでいる訳です。

「子供の学力が低下するのではないか」、それが、どの親に対してもいえることではないかと思えます。

文部科学省の方では、これは「親に返す時間」、或いは、「塾等にもお願いします」という言葉も出ております。ということは、「塾」のことはさておきまして、2日間をどう有効的に子供たちを指導して行くのか、扱って行くのか、という事が、私が言いたい事であります。受け皿があまり感じられないような、今の教育において、この2日間を有効的に使うにはどうしたらよいか、親も大変心配しております。これは、やはり大切になってくるのは、地域の子供を返すということ、「教養学習」といいますか、文科省あたりは、そういつておりますが、そういう面と学力の面とはどうなるのかというところが、非常に矛盾しているような感じがあるのですが、先ず、そういうことからして、2日間の利用について、受け皿に対する考え方。ただ2日間子供を放っておくだけでは、能がありません。やはり、これに対しては、多少地域の教育力とか、自治体の色々な発案した方向性を創るとか、そのようななかで子供たちは、指導制のなかで、ある程度育って行くのではないかと私は思います。

「教養学習」といって家庭に返す。それは、親に「やってくれ」というのと同様な考えになっていますが、今の親が受け皿になって2日間を有効に過ごすような方向性が創れるかどうか私は大変疑問に思います。親は働く時間もあります。土、日曜が休みとも限りません。母親達はパートに勤める方達もたくさんおります。「お前たちやっておけ」「勉強しろ」と言うだけでは能はない訳であります。子供たちは決して机上に向かって勉強するだけでは伸びません。やはり、地域と共に友達どうしで交わる。そういうことも、学習の一つだと私も考えておりますが、そういう学習として、「スポーツの都市」とか、「公園」と

か、「学校」、「校庭開放」ということも叫ばれておりますが、そういう点がどうなっているのか。子供を2日間、家族で育てるにはどうしたらよいか、色々苦心なさっているとは思いますが、教育行政の面で、色々そういうことは今後問題にたくさんなってくると思います。それについて後手後手にならないように、子供の教育は直ぐには効果は見えません。「百年の大計」などと言われますが、やはり、これをしっかり伸ばした世界に負けないような子供をつくらなければいけない。そういう心に燃えて、色々考えていただきたいと思います。

確かに、色々「箱物行政」も重要であります。しかし、人間を育てていくうえにおいては、これからやはり、長年のなかで子供たちを立派な社会人に育てるためには、どうしたらよいか、そこら辺りを考えをもっただけならば、幸いだと思えます。よろしく願いいたします。

## 回答

ご質問のように、今年度4月1日から「完全学校週5日制」が導入され、新しい教育課程の完全実施ということになりました。そのなかで、実際に今までの内容の約3割が削減されております。従って、その3割をもって、「これからの子供たちの学力が低下するのではないか」というような懸念が全国的に生じております。先ずその点であります。新しい教育課程における学力観というのは、かつて私達が行って来た教育の中心というのが、学習の知識や能力、技能というものを教え込んで行く。従って、子供たちは沢山の知識や技能を身に付けていけばいい、というような型での教育が中心でありました。

従いまして、その結果、沢山の知識は覚えたが実際にその知識や能力というものを、現実社会のなかにおいて使えなくなって来てしまっている。そういう事に関連して、様々な非行の問題や、或いは心の部分の育たない子供が生じてきたり、色々な教育問題が生じてしまったという指摘がありました。このようななかで、新しい教育改革が進められて来た訳であります。これからの目指す学力というのは、単に知識や技能を覚えたり、身に付けるだけではなくて、そういう必要な知識を覚えなければいけません。身に付けなければいけないのですが、ただ覚えるだけではなくて、覚え方についての「学び方」というのでしょうか、知識を獲得するための方法、難しい言葉でいいますと「操作能力」などと呼んでおりますが、そういう学習内容を身に付けて行かないといけないのではないかと、という学力観に変わって来ている訳です。

簡単にいいますと、例えば、今まで漢字をたくさん覚えました。これからは、漢字を覚えるだけではなくて、漢字の覚え方を学ぶ。辞書を引いて、自分の知りたい漢字をどんどん覚えていく。或いは理解していくとか、調べていくとか、そのような方法的なことを、どんどん教えて行かないと駄目ではないか、そのような時代になって来たのではないかと思う訳です。

従って、「学校」というものが、本当に自分にとって必要な知識や技能を、自らの考えにおいて主体的に学ぶ力を育てていくというように変わってきましたので、そういう点で、学習内容が3割減ってきてても、学力そのものは、今までと「違った学力が身に付いてくるのではないか」「新しい学力を身に付けて行くのではないか」ということで、期待されている訳です。

その新しい学力というものは、今度休みになった土曜日と日曜日を使って、学校で基本的な事を学んだことを、そこで更に深めたり、広げたりして行く。そういうような考え方なのです。

そのために土曜日や日曜日の過ごし方や受け皿は、どのようになっているかということですが、現在、各学校では単に知識を身に付けるだけではなくて、開かれた学校作りを推進するなかで、積極的に体験学習等を導入して生きる力の育成に務めております。

特に、土曜日や日曜日の休業日には、子供にとって地域社会が活きた学習の場となるように働きかけております。

その例を幾つかあげますと、地域には図書館、公民館を始め沢山の公共施設があります。これらを有効に活用して行くことを奨励しています。このようなことから市では、本年度からプラネタリウムや大穴及び運動公園プール等においては、土曜日の中学生以下の利用については、原則として無料にしております。

また、学校施設、体育館や校庭はかなり開放していますが、今後は教室も開放の方向で積極的に提供していきましようということになっております。

更に、地域には「ボーイスカウト」や色々な「青少年の育成団体」、「ボランティア団体」やサッカー、野球等の「スポーツ団体」、あるいは「ばか面友の会」やジョキング等の「レクリエーション団体」等、非常にたくさんの青少年団体があります。学校では子供たちに、こうした団体を紹介して積極的に自分の能力に合った、色々な育成団体に参加して、そこで、様々な勉強をして、自分の能力を高めていただく。そういうような事を積極的に進めております。

実際に子供たちが、色々な土曜日の過ごし方があると思いますので、現在、実際の過ごし方を学校でアンケート調査をしていただきまして、その結果によって、また色々な対策を考えて行きたいと考えております。

## 「私立」、「公立」の学習時間の違い及び子供たちの遊び場について 質問

先程のお話しはよく分かりましたが、これから色々やっ行って行かなければならないと思いますが、地域でも問題を抱えて、そういう話がドンドン出てくると思いますので、よろしく願いいたします。



そこでもう一つ、それにまつわる教育の問題ですが、一つは今、私立の小学校、中学校があります。それは文科省の方向性にとらわれないで、週休2日制ではなく、土曜日は登校するような状態が見られます。要するに私立と公立が学習時間が違うし、それによって学力の差が、おおいに出来るのではないかという判断もあります。一般の人達は、「私立へ今度あげよう」と、「私立の方が学習時間が長いからあげよう」と、そういう方向性を考える人もおります。なかには、親が忙しいので、「塾へやろう」と、これも非常に考える人がいるのではないかと私は思いますが、やはり経済的な面も、そこには付加している訳であります。そういうことから考えますと、今後、公立の学校としてはどうしなければいけないだろうか、ということが、また問題になってくるのではないかと思います。それが一点。

もう一つは、子供たちが遊び場所がない。遊びたいのだけれど、と公園等を見ますと、「ボールを投げてはいけない」とか、「野球をしてはいけない」とか、そういう決まりがある所もあります。そういう面をどう考えて、子供たちに精一杯、そういう休みの日を利用して友達と遊んで行こうかとか、また一つの考え方があると思います。

そういう面を考えてみますと、今後、そういうことも考え合わせて、子供の育成を目指してほしいと、私は思います。

## 回答

学力の問題については、先程もご説明いたしました。あくまでも公立学校というのは、人間としての力を総合的に高めて行こうというところに力点を合わせおり、私立はどのようにやっているか分かりませんが、単に大学受験のための学校というような方向には、たぶん公立学校は、進んでいかないのではないかと考えております。そういう意味で比較するのは難しいと思います。

ただ、学力が低下しては困りますので、今言った新しい学力観に立ったことなのですが、その辺については、実態を十分に調査をしながら、本来の学力が下がらないように、今後、対応を考えて行きたいと思っております。

遊び場等の確保については、色々な公的施設がありますので、学校のグラウンドや様々な場を考えて、子供に危険の無い広い場所など、思い切って遊べるような場所を提供して行きたいと考えております。

## 霊園の名称について

### 質問

簡潔に申し上げますと霊園の問題です。

これから、いつ、どういう事で、どういう順序で、ということで、最近、「寿陵（じゅりょう）」ということを考えている方が大変多いようですが、船橋とい

いますと「馬込霊園」と直ぐいわれるのです。そして、市川は「八柱霊園」といわれておりますが、この「馬込」という名称は、私は変えた方がいいと思っていますのです。

何故ならば、遠い昔「吉宗」という徳川の将軍がおり、この方が武術というもので、馬をここで放牧したのです。これは、柏の「十余二」とか「豊四季」とか、他にも船橋の場合は、「二和」「三咲」という、数字が入っていますが、これは、放牧した牧場というよりも、「矢場」ですね、この名残りが、ここに「二和」「三咲」と残って、その西側が「馬込」というのです。これは「馬の骨」というのに容易に通じると、私は思うのです。この名称を変えるといいと思うのです。

馬が水を飲む。大変な何千頭という馬を、「吉宗」という将軍が、昔、「広重」の絵にもありますが、この馬の骨を、病気になった馬、老いた馬を封じ込めてしまって、その馬の「塚」みたいなものが名残で、「馬込霊園」という名称は、私はあまり好きではないのです。

2002年に、何か「船橋霊園」と言っていました、相応しい名前と呼ぶようにしていただきたいと思っております。

回答

確かに馬込町から二和、三咲。御滝界限へ行きますと「馬土手」といって、そのような名残があります。

しかし、ここで名前を変えるということは、非常に難しいと思います。確かに、町名そのものから「馬込」としてあり、これは、そこにお住まいの人達が「なんで、変えるのだ」というような事も、色々出てくると思いますから、これは慎重に対応しなければならない訳でありますから、ちょっと難しいと思います。

## 原木中山駅のロータリー広場について

### 質問

前回の市政懇談会の要望事項の「原木中山駅のロータリー広場について」なのですが、ツツジがとても綺麗で、綺麗に整備されていると思うのですが、引っ越してきてから3年で、よく使わせていただいているのですが、なぜ改札口が市川側で、折角ロータリーがあるのに、なぜ、あちら側に向いているのか駅員さんに聞いたところ、「使う人が市川市ばかりだから」というようなことを言われたのです。船橋市から、折角ロータリーがあるのだし、逆の向かい側の所には、公園もありますし、使いやすくなるのではないかと思われるのですが、船橋市からは働きかけとか、改善の要望とかを営団へ出されているのでしょうか。

下総中山駅と同じように原木中山駅も、船橋市の東京向きの玄関なのではないかと、私は思うのです。宜しく願いいたします。

#### 回答

実際に見ていませんので、なんとも言いようがないのですが、初めて、そのようなお話しが出てまいりましたので、現地を見させていただきます。

#### 下総中山駅南側の整備について

##### 質問

下総中山駅の北口は非常に綺麗に整備されました。本当に有り難うございました。

それに引き換えまして、南側は細い道路がありまして、ゴチャゴチャしています。将来的に南側はどのようにしていただけるのか、市に伺いたいと思います。

##### 回答

ご指摘のとおり、北側の方には広場も出来て、門前町の佇まいもしている訳ですが、それに比べまして、南口というのは、住宅、まさに住宅のジュウタンのような感じでありまして、公共施設も本当に少ない、皆さん、それぞれご指摘されたとおりであります。

ただ、この南側をどのように改善するかというのは、非常に至難の技であります。一つは財源の問題があります。膨大な財源が必要です。単なる財源という性格ではありません。それから、合意形成という大きな課題があります。

この二つの問題を同時に解決するには、大変な労力と時間が必要であると考えます。従いまして、先程来、道路問題で答えておりますが、道路を広げる事より、もう一つの方法であります面的な整備。例えば再開発、或いは地区計画等、色々手法があります。

どれを取りましても、時間とお金が大変かかるので、一番効果が上がるのは、一方通行化をすること。皆さんの合意によって一方通行化をして、出来るだけ早く安全な道路形態、歩行者空間を造ることが、一番求められている課題ではないかと考えておりますので、どうぞ地域の皆さんが話し合って、これは皆さんの合意がなければ出来ませんので、地域地域で話し合って、一方通行化を実現出来るような形で、話し合っていただければ幸いですと思っております。そのためには、私どもも協力を惜しみませんので、宜しく願いしたいと思います。

#### 本中山地区、在宅福祉の計画について

##### 質問

福祉施設についてお伺いしたいのですが、ケアマネージャーをしております

て、一番困っているのは、やはり施設です。

一番相談があるのも、施設への入所相談ということですが、今度、西船橋に出来るということですが、船橋で一番必要なのは、「ショートステイ」短期入所が、ある面では、次に入所出来れば自宅で頑張れるということもある訳ですが、今度出たら、いつ入れるか分からないという、短期入所でも入れないということがあります。その短期入所も含めまして、在宅福祉の三本柱である短期入所について伺いたいのですが、この辺へ来ますと短期が凄く困難です。その辺も含めまして、この西船のショートステイも含めまして、在宅福祉の計画について、具体的に本中山でどうして行くのか、この地域でどう考えて行くのかということも含めまして、質問にお答えいただければと思います。

## 回答

施設のお話しになるかと思うのですが、老人福祉施設の内、介護保険関係の施設で、特別養護老人ホームの入所が非常に困難であるということで、西船の地区に新しく市立の特別養護老人ホームを、100床の施設になりますが、整備する予定であります。

そこに、ショートにつきましても併せて整備をする予定でありますし、デイサービスにつきましても、併せてサービスを提供できるかと思っております。

ショートステイにつきましては、介護保険事業の国の方針がよく変わるところがありまして、前は他のサービスとは別に「何日以内」ということで、要介護ごとに応じた利用がなされていることになっていたのですが、この度、一本化ということで、ショートステイについて、他のサービスと合わせて、「どの位まで入っていい」という話で、変わって来ております。

その中で需要も少し変わるのかなと、今持っているデータというのが、以前の制度で、どの位の需要があるかということがメインであったものですから、この需要がたぶん変更されて、ショートに対しては要望が増えるのではないかと、その結果、今、入りにくい状況になって来つつあるのかと思っております。

今年度、介護保険の事業計画、或いは、老人保健福祉計画の見直しをする予定でありまして、3ヵ年の計画に元々なっておりますので、平成12、13、14年で一つの計画。15、16、17年のまた新たな計画を立てる予定でありますので、その中で、この制度変更による需要がどの位出てくるのかということも、合わせて見直しさせていただきまして、なるべく利用しやすいような体制が組めるよう、施設整備の支援についても、シュミレーションした結果に応じた支援が出来るように考えております。

## 「公園造り」について

### 質問

前回の市政懇談会の要望のなかに、「真間川の緑化事業について」というところがあったのですが、そこに付随するかどうかなのですが、二子町近辺の公園ですが、けっこう木が、私は元々田舎でも山に近いような田舎でしたので、木が沢山生えていたのですが、この近辺は中高木の木が立っていない公園、どちらかというと校庭のような感じの、風が吹けば砂ぼこりが舞うような公園が多いようなイメージがありまして、もう少し公園の中も機能性よりも緑化、そういう部分というのが、もう少し地域の人を含めてのボランティア活動も含めた公園造りを、もう少し上手く出来ないかと見ているのですが、機会がありましたら、是非、そのようなことも行っていただきたいと思っております。

### 回答

現在、私どもの公園造りの方向といたしましては、先ず地域の方々、町会、自治会の方々にご相談を申し上げて、公園を造る方向で現在は考えております。

今年の市政方針にもありますが、「市民と協働」という、キョウドウは協同組合の「協」に「働く」ということの意味がありますが、こういった形で今後、公園造りについては進めていきたいと考えております。

今までの公園については、行政が、ある面では一方的に造ってきたという面も否めません。今後、公園の改築計画にあたりましては、皆様の地元に入りまして、それから計画を立て、公園造りに務めてまいりたいと考えております。

それから、管理の面ではありますが、或る面では「どちらを立てれば、どちらが」という面もあります。この面につきましては、私どもも大変悩んでいるところであります。

例えば、或る地区の方々で、自分の家の近くでなければ、「トイレを設置していただきたい」。ところが、公園に近い家の方々は、「トイレは、罷り成らん」。そのようなこともあります。

また、或るときであります、「ゴミ箱を設置していただきたい」という方もいれば、「ゴミ箱を設置すると、自分のゴミをゴミ捨て場に持っていかないで、そこに棄てられて困る」と、このような悩みも、私どもに有ることも、少しご理解いただければと思います。

いずれにしましても、今の方向としましては、公園造りは、地区に入り、それから計画をして行くということで進めておりますので、ご理解いただきたい。

## 道路問題及び財源問題について

### 質問

今まで再三話題にあがっておりましたが、真間川緑化両岸整備実施時期に平

行して、その中心部にあたる小栗原小学校の前の通り、安全な通学路確保ということを目的として、一方通行にする。歩道を整備して広げるといような形を同時変更し、完成させていただければということをお願いしたいと思います。

それともう一つは、再三話題にあがっている財源の問題。これは整備計画の話題とは、はずれます。例えば、コミュニティセンター設立ということに対しても、一番の大きな問題は財源ということだと思います。

そこで、市長にお伺いしたいのですが、施設利用ということのなかで「産官協力」という形のものを検討できないだろうかということですか。

例えば、先程、福祉施設、デイサービスを含めて、そのような第三セクター、或いは、産業界を利用する、そのような建設予算を捕捉するといような形は考えられないのだろうかと思っております。

### 回答

今、財源的なものとおっしゃいましたが、確かに、財源的に厳しい面は否めない事があります。しかしながら、私どもが考えている事は、例えば、今、本中山消防署が「長太郎」の先にできますと、消防だけでは無く複合的なもので考えてまいる訳ですから、そういったことを考えて行きますと、色々なもの、例えばそこにコミュニティセンターを併設することも可能かどうか、それは考えてみたいと思っております。しかしながら、「PFI方式」といいますと、これは非常に難しい面がある。今、「PFI」を再検討するといつか、そういう勉強会をもっていると思えます。

答弁にならないかも知れませんが、私どもは、「物」を造るときに、ただ単にそれだけではなく、他と一緒に併設、兼ね併せたもので出来ればと考えております。